

新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たに下記の項目が受託可能となりましたのでご案内いたします。
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

記

■実施日 令和2年5月29日(金) ご依頼分より

■新規実施項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲(単位)	検体量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料	判断料
4A27-02	単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	FIA	0.9未満 AI 判定基準:下記参照	血液 3.0	X	室温	3~6	212	144 (免疫)

単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG の判定基準

判定	HSV-1 型 (抗体価 [※])	HSV-2 型 (抗体価 [※])
陰性 (-)	0.9 未満 : 陰性 (-)	0.9 未満 : 陰性 (-)
判定保留 (±)	0.9 未満 : 陰性 (-)	0.9~1.0 : 判定保留 (±)
	0.9~1.0 : 判定保留 (±)	0.9 未満 : 陰性 (-) 0.9~1.0 : 判定保留 (±)
陽性 (+)	0.9 未満 : 陰性 (-)	1.1 以上 : 陽性 (+)
	0.9~1.0 : 判定保留 (±)	0.9 未満 : 陰性 (-) 0.9~1.0 : 判定保留 (±)
	1.1 以上 : 陽性 (+)	1.1 以上 : 陽性 (+)

※メーカー設定した抗体価 単位は AI(Antibody Index)

詳細については裏面をご参照ください。

● 単純ヘルペスウイルス 1 型・2 型-IgG

HSV-1(1 型)と HSV-2(2 型)の型特異性が高い検査です。

単純ヘルペスウイルス (HSV) は、血清型および遺伝子型から、HSV-1 (1型) と HSV-2 (2型) に分類されています。

HSV感染症のほとんどは、症状を認めない不顕性感染ですが、ウイルスの型 (1型・2型) や感染経路により多彩な病態を持つことが知られています。病態は皮膚のバリア機能や全身の免疫機能が関与し、その再発頻度はウイルスの型などによって決定されると考えられています。

現在、中和法 (NT法) などによる型の鑑別がおこなわれていますが、1型と2型に強い交差反応があり、血清学的に HSV-1 および HSV-2 感染症を鑑別診断することができませんでした。

本項目は、型特異性が高い HSV エンベロープ糖タンパク抗原の1つであるグリコプロテイン G (gG) を抗原とした抗体検出法を用い、型特異性が高い抗体検出が可能となりました。特に、再発を繰り返す HSV-2 (2型) を正確に鑑別し、再発頻度の予測や再発防止にご活用ください。

▼ 疾患との関連

単純ヘルペスウイルス (HSV) 感染症

▼ 関連する主な検査項目

単純ヘルペスウイルス 1 型 [NT]

単純ヘルペスウイルス 2 型 [NT]